

科目名	化学演習Ⅱ		学年	類型・コース	単位数
			3 年	自由選択 3 ・ 普通	2 単位
学習の目 標	身の回りの物質に対して科学的に探究する能力と態度を育てる。化学演習Ⅰで学習した基本的事項を用いて、より発展的な内容を理解することができる。				
教科書 副教材	主たる教材：自主教材 副教材：なし				
評 価	評価法	①定期考査(各学期 1～2 回) ②小テスト ③ノート ④授業反応 ⑤実験態度 ⑥実験操作 ⑦実験レポート			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、化学や化学現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図る。	
		b	思考・判断・表現	化学や化学現象を科学的に探究するために、見通しをもって実験や観察を行い、一連の学習を自分のものにする。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	様々な化学に関する事象に対して主体的に関わり、気付きから課題を解決しようとする態度を養う。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10 の 10 段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5 の 5 段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	酸化と還元の定義	酸化と還元の定義について理解ができる	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	5月	8	酸化数・酸化剤と還元剤の働き	酸化数・酸化剤と還元剤の働きについて理解ができる			
	6月	8	酸化還元反応とその量的関係	酸化還元反応とその量的関係について理解し、基本的な計算ができる			
	7月	4	金属のイオン化傾向	イオン化傾向について理解し、基本的な計算ができる			
夏休み							
2学期	9月	8	電池と電気分解	電池と電気分解について理解し、基本的な計算ができる	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	10月	8	有機化合物の特徴と分類	有機化合物の特徴と分類について理解し、説明することができる			
	11月	8	アルカン・アルケン・アルキン	アルカン・アルケン・アルキンについて理解し、説明することができる			
	12月	4	アルコール・エーテル・アルデヒドとケトン	アルコール・エーテル・アルデヒドとケトンについて理解し、説明することができる			
冬休み							
3学期	1月	6	カルボン酸・エステルと油脂	カルボン酸・エステルと油脂について理解し、説明することができる	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	2月						
	3月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）
毎時間の授業を大切にし、テスト前は演習問題を繰り返し行うとよい。